

平成23年度事業方針

社会福祉法人みつみ福祉会

1. 基本方針

規制改革や制度改革そして地域主権改革など社会全体で改革が進められてきて、戦後長く続いてきたさまざまなシステムが大きく変わろうとしています。社会保障・社会福祉制度についても制度改革が進められてきており、まさに、社会福祉法人経営を取り巻く環境は大きな変革期にあります。

このような先行き不透明な時代に、わがみつみ福祉会は、社会福祉法人の存在意義をより一層示すために法人が掲げる理念『よりよく共に生きる社会の構築』を公共性の高い社会福祉法人にふさわしいあり方で、経営実践へと展開し、努力を継続していきます。

その上、みつみ福祉会の事業内容をさらに地域住民の皆様に理解を得ることが重要であり、法人の存在が地域住民の皆様の日々の生活の安定と生きがいにつながるような信頼を得ていかなければなりません。

「共に生きる」という基本理念は人間が生きていく上で最も大切な考え方であり、ご利用者の皆様とご家族、地域住民の皆様、そして職員との関係の中で、一人ひとりが関わり交わることで、互いの尊敬と信頼の中で、現在および未来へ向かって幸せを追求していくという考え方です。この考え方を法人職員すべてが享受して『地域住民の安全・安心の福祉拠点を作る』という使命を果たしていきます。

平成23年度は法人創設50周年という大きな節目の年です。半世紀にわたる長い間、先達が築かれた歴史と専門性の蓄積に敬意と尊敬の念を保持しながら、今後法人がさらに地域住民の皆様にとってかけがえのない存在として信頼されていくように努力をしていきます。50周年記念事業では、地域住民の皆様への『感謝と信頼』をコンセプトにします。

一方、組織体系については、理事会の下部組織として四部門（人材育成部、財務部、事業部、専門部）を組織し施設長会と連携を取りながらそれぞれの福祉課題に取り組んでいきます。社会福祉法人として、広域にわたる事業を手掛けていることから、『みつみ福祉会総合相談センター』を本部におき、地域の皆様から福祉サービスに関するあらゆる相談を受け、地域の皆様の心の拠り所になっていくことを目指します。また、階層別にその役職や役割を明確にし、みつみ福祉会ならではの信頼と実績を築いていきます。

以上により、平成23年度から平成27年度までの5ヶ年達成計画のもとに、平成23年度の重点項目を下記の通り推進していきます。

2. 重点項目および平成23年度推進項目10カ条

(1) 在宅サービスおよび地域密着型サービスの拡充（地域包括ケアの充実）

- ア. 認知症通所介護・介護予防事業所の開始（三愛荘在宅・認知症高齢者GHとだ）
- イ. 丹波市山南町小川地域に高齢者サービス事業の本格的開始（居宅、ホームヘルプ、デイサービス、認知症デイサービス等地域密着型サービス事業の展開を旧みつみ保育園跡地で実施）
- ウ. 障害者の重度化、高齢化問題への具体的対策の検討および医療的ケアについての具体的対応の研究
- エ. 福知山市における障害者の日中活動および働く場の開拓、確保
- オ. 高齢者、障害者地域生活定着支援センター事業のさらなる充実（神戸）

(2) 利用者個々のニーズに的確に対応したサービスの充実と質の確保

現在法人内の事業所のサービスを利用されている皆様の個々のニーズを調査して、適時的確な質の高いサービスを提供する

(3) 社会福祉法人の本来事業と独自の事業の研究と展開

- ア. 社会福祉法人としての本来業務である公益的取組みを着実に推進していく
- イ. 社会福祉法人以外ではなかなか着手できない事業の積極的取組み
例えば、低所得者対策、独居老人対策、家庭引きこもり者の相談支援対策、発達障害児、者の支援、福祉サービスの最後のセーフティネット等々）
- ウ. 社会福祉事業の安定的財政基盤を確立するための収益事業の研究調査

(4) 法人組織機能の充実

ア. 事務局機能の充実および効率化

法人が統括する事業の多様化と複雑化に伴い、法人事務局機能をさらに充実させていく。そのために理事会の下部組織として、人材育成部、財務部、事業部、専門部を置き、専門的機能的に法人運営を図っていく。

イ. 法人事務局機能の効率化合理化を図るために三愛荘の京都事務局を充実させる

ウ. 四部門の課題の中でも、人材育成部門のトータル人事制度の研究と成文化は最優先の課題とする（コース別人事制度の研究、キャリアパス制度の充実）

一方、財務部門については、多種別の事業展開の中で、特に施設整備と戦略的な事業展開による資金の内部留保を安定化させるために専門的な研究が必要となる

エ. 地域住民の皆様の福祉に関する総合相談窓口として総合相談センターを本部に開設し、よりの確なサービス提供につなげていく

(5) 老朽化施設の改修推進および新規整備事業の着手

- ア. 信愛育成苑をはじめとする福知山地域の障害関係施設の高齢化、重度化対策とその整備。信愛育成苑の新体系移行と京都サポートセンターの役割強化
- イ. 戸田地区における認知症高齢者グループホームの新規建設
- ウ. 戸田地区における小規模ケアハウスの新規着手計画
- エ. 敬愛荘の老朽化対策と将来計画検討

- (6) 障害者施策の施設サービスから共同生活住居への移行の的確な支援策
 - ア. ケアホーム、グループホームへの移行促進とサポートセンター機能の充実
 - イ. 施設サービスの共同生活住居への全面的なバックアップ支援の徹底
 - ウ. 平成23年度末までに新体系の完全移行を完了させる
- (7) 子育て支援策の充実（幼保一元化へ向けての取り組み）
 - ア. 0歳から5歳までを一貫した幼児教育および子育て支援策の充実
 - イ. 保育園および幼稚園の特徴を加味させた認定こども園としてのモデルとなるような子育て支援策の展開
 - ウ. 行政と課題を共有して常に健全経営が可能となるしくみにする
 - エ. わかば保育園のニーズ拡大と対応策の早期検討
- (8) 真剣に取り組む地域貢献事業の拡充
 - ア. 地域貢献事業の予算化はもとより、担当職員の明確化により法人全体で取り組みを行う
 - イ. 地域住民の皆様にとって、社会福祉法人の存在価値を理解していただけるような地道な取り組みを行う
- (9) 遊休資産の活用
 - ア. 旧みつみ保育園の跡地は高齢者事業を中心に地域密着型サービスを展開
 - イ. 旧日吉丘保育園の跡地は信愛育成苑の整備にあわせて日中活動の場として活用
 - ウ. 戸田地区借地は認知症高齢者グループホームおよび小規模ケアハウス建設予定
- (10) 新規事業の展開
 - ア. 北播磨圏域（西脇市）における活動拠点の具体的検討
 - イ. 精神障害者の退院促進支援と法人としての取り組み（府県、市の要請が大）
 - ウ. 児童養護問題、発達障害児者問題の調査研究と法人としてのスタンス
 - エ. 認知症高齢者対策と法人のスタンス